学校番号	３０２６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の国語　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	重要漢字コレクション２８００　改訂版（啓隆社）・つなげる現代文（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高等学校の国語では、皆さんが社会へ出たときに出合う様々な人々との交流に必要なコミュニケーション力の基盤となる国語力をさらに発展させることを目標とします。１年生の「現代の国語」では、論理的な文章や実用的な文章を読んだり書いたりすることにより、語彙や表現スキル、状況を正しく把握する力や確かな言語感覚を磨き、「自身の意思を伝える」ことと「他者に意思を理解する」ことができる人になることを目指します。授業では、以下の点を特に注意して学習に取り組みましょう。(1)論理的な文章に対して、「なぜ」「どうして」という批判的な姿勢で読む。(2)多くの実用的な文章に慣れ、言語を通して現代の社会を理解する視点を学ぶ。(3)自分が文章を書いたり話したりするときに、正しい文法・語法を用い、論理性を意識する。(4)辞書や副教材等も使用しながら積極的に新しい語彙を獲得し、使えるようにする。(5)集団での活動に積極的に参加し、協働性やリーダーシップを身につける。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要である国語について、その特質を理解して適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、　自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしなが　ら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を　磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	的確に伝える ［教材］ 設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す	ａ：話し言葉の特徴をふまえ、正確さやわかりやすさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 ｂ[話/聞]：伝えるべき情報を整理し、場の状況に応じて聞き手の理解が得られるように表現を工夫している。 ｃ：話すことに関心を持ち、相手が理解しやすい説明をしようとしている。	発表内容 原稿	原稿作成 グループワーク	観察 発表
	要点をつかむ ［教材］ 水の東西　　「動」への変化	ａ：修辞法の知識を身に付け、具体と抽象の関係を理解している。 ｂ[読]：文章の内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ｃ：要約に積極的に取り組み、背景の知識についても関心を持っている。	テスト	ワークシート 要約文作成	観察 ワークシート
2学期	意見を示す ［教材］ 発想を広げる 意見を書く	ａ：書き言葉の特徴をふまえ、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ｂ[書]：伝えるべき情報を収集・整理し、読み手の理解が得られるように論理や表現を工夫している。 ｃ：他者と積極的に意見交換を行い、根拠を明確にして意見を書いている。	意見文	話し合い 意見文作成	観察 話し合い
	論理をとらえる ［教材］ 動的平衡としての生物多様性	ａ：主張と根拠など情報と情報の関係について理解している。 ｂ[読]：根拠・演繹・帰納に注目して文章の論理や要旨をとらえている。 ｃ：論理的文章を読むことに関心を持ち、論理を意識した読みができる。	テスト	ワークシート	観察 ワークシート
	他者と交流する ［教材］ 他者を理解するということ 目的に沿った質問をする	ａ：他者を理解するための話し言葉や書き言葉の役割を理解している。 ｂ[話/聞]：質問の目的を明確にしたうえで、知りたいことを引き出すために話し方を工夫している。 ｃ：他者に関心をもち、敬意と親しみを持って積極的に質問している。	紹介文	インタビュー 紹介文作成	観察 ペアワーク
3学期	主張を吟味する ［教材］ 贅沢を取り戻す 言葉についての新しい認識	ａ：認識や思考を支える言葉の働きを理解している。 ｂ[読]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら文章を評価し、自分の考えを深めている。 ｃ：参考資料の引用や出典を別個の情報として意識し、文章全体との関係を考察している。	テスト	ワークシート	観察 ワークシート
	他者を動かす ［教材］ 説得力のある資料をつくる	ａ：効果的なプレゼンの要素についての知識を有し、聞き手を動かす表現方法を理解している。 ｂ[書]：実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討したうえで、簡潔な表現で資料や原稿にまとめている。 ｃ：伝え合う意欲を持ち、資料とプレゼンの内容を改善している。	プレゼン資料 プレゼン内容	プレゼン資料作成 グループワーク	観察 プレゼンテーション

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間